

聖心女子大学 2021(令和3)年度 一般選抜(総合小論文方式) 問題

問1 資料1-(A)、資料1-(B) は、仕事をする日本人女性に関する図表です。資料から読み取れる内容について、正しいものを以下の選択肢(a)~(g)から2つ、選びなさい。

- (a) 他国と比べて、日本の就業者に占める女性の割合はとりわけ低くないが、管理職に占める女性の割合はかなり低い。
- (b) 日本は先進国であるため、他国と比べても管理職に就く女性の割合は高い。
- (c) 日本では管理職に就く男性の割合が多いにもかかわらず、非正規雇用の割合が女性よりも多い。
- (d) 日本人が65才を超えても働き続けられるのは、寿命が長いからである。
- (e) 非正規雇用労働者の割合は、男性に比べて女性の方が高い。
- (f) 非正規雇用労働者の割合は、女性に比べて男性の方が高い。
- (g) 65才以上の非正規雇用労働者の割合が男性より女性が低いのは、男性の寿命が短いからである。

問2 資料2は、女子の理数系の学力と大学進学における分野選択の関係について論じたものです。資料を踏まえ、女子が理工系の分野を人文系に比べて選択しない理由について、女子の理数系の学力との関係に触れつつ、100字程度で答えなさい。

問3 資料3は、2014年9月にイギリスの女優エマ・ワトソン Emma Watson がニューヨーク国際連合(以下、国連と表記。)本部で行ったスピーチの一部です。資料を読んで、以下の問いに答えなさい。

(注)エマ・ワトソンは、映画『ハリー・ポッター』シリーズのハーマイオニー・グレンジャー役などで知られ、世界的に活躍する女優です。2014年7月、エマ・ワトソンはUN WOMEN(国連女性機関)の親善大使に任命されました。

(1) 下線部㉑の内容を表す以下の文章の(A)(B)(C)に適切な日本語を入れなさい。

女子は、男子のように(A)の演出をやりたがったり、スポーツ・チームで活躍して筋骨たくましくなったりするものではなく、男子は女子のように自分の気持ちを(B)すべきではない、という(C)があること。

(2) 下線部㉒は文章中のどの語を指しますか。その英単語を書きなさい。

(3) 下線部㉓の内容として適切なものを、以下の選択肢(a)~(e)からすべて選びなさい。

(a)男女同一賃金 (b)身体についての決定権 (c)環境権 (d)参政権 (e)個人の尊重

(4) 下線部㉔の内容を表す以下の文章の(D)(E)(F)に適切な日本語を入れなさい。

私の両親は、私が息子ではなく(D)だからという理由で愛情を減らすことはなく、学校は女子だからという理由で私を(E)しなかったし、指導してくれた人たちは、

私がいつか（ F ）を産むからそんなに成功しないだろうと決めつけなかった。

(5) 下線部①、②、③、④を日本語に訳しなさい。

問4 資料4は、女子中学校・高等学校の教員への取材に基づき、日本における「女性の活躍」について書かれた文章の一部です。資料を読んで、以下の問いに答えなさい。

(1) 二重傍線部にある「日本には含み資産がある」とは、何を指しているのか。30字以内で答えなさい。

(2) 3つの空欄 、、 に入る文言の組み合わせとして最も妥当なものを、以下の選択肢(a)～(d)から選びなさい。

(a) A チャンスをつかんでチャレンジする女性が少ない
B 女性が不安を多く感じやすい
C 女性は過大な労働負担を背負っている

(b) A チャンスにチャレンジしても続かない女性が多い
B 女性が不安を多く感じやすい
C 女性が労働市場から一時的に退場する

(c) A チャンスをつかんでチャレンジする女性が少ない
B 女性のチャレンジ精神が弱い
C 女性が労働市場から一時的に退場する

(d) A チャンスにチャレンジしても続かない女性が多い
B 女性のチャレンジ精神が弱い
C 女性は過大な労働負担を背負っている

問5 あなたにとって現代社会における「女性の活躍」とはどのようなことでしょうか。その「女性の活躍」が何によって妨げられており、どのような改善が必要であると考えますか。資料1から資料4のすべてを踏まえ、あなたの考えを600～800字で述べなさい。

【配点】 問1、問2、問3、問4:合計 150点 問5:150点 総計 300点

【出典】

資料1-(A)

『男女共同参画白書 令和元年版』「I—2—7図 年齢階級別非正規雇用労働者の割合の推移(男女別)」。 http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r01/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-02-07.html (一部改変)

資料1-(B)

『男女共同参画白書 令和元年版』「I—2—14図 就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合(国際比較)」。
http://www.gender.go.jp/about_danjo/whitepaper/r01/zentai/html/zuhyo/zuhyo01-02-14.html (一部改変)

資料2

信田理奈「学術分野の多様性と男女共同参画に関する社会学的考察—STEM 領域における女性研究者育成支援を中心として—」、『秋草学園短期大学 紀要』34号、2017年。(一部改変)

資料3

Speech by UN Women Goodwill Ambassador Emma Watson at a special event for the HeForShe campaign, United Nations Headquarters, New York, 20 September 2014.
<https://www.unwomen.org/en/news/stories/2014/9/emma-watson-gender-equality-is-your-issue-too> をもとに文章を作成。

資料4

おおたとしまさ『21世紀の「女の子」の親たちへ——女子高の先生たちからのアドバイス』、祥伝社、2020年。(一部改変)